

# 科目「農業情報処理」

単位数	2単位
学年	2学年
教科書	農業情報処理

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業の各分野に共通する内容である情報処理について学習させる共通的な科目である。社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、地域農業の実態、学科の目標や特色及び生徒の必要などに応じて情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業の分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。

## 2. 授業の内容と進め方

科目「農業情報処理」の内容は、(1)農業における情報手段の活用、(2)農業における情報の活用の2つに重点を置いています。それは、社会の情報化が進展していることから処理及び活用に関する知識と技術を習得させ、様々な課題にどう対応していくか考える場にしていく。

## 3. 学習する上での留意点

情報処理に関する知識と技術の習得にあたっては、情報と情報手段に関する体験的な学習を通して、情報の意味及び社会における情報の意義や役割を理解させ、農業の各分野における情報の収集、処理及び活用に関する知識と技術を習得させる。

また、コンピュータや情報通信ネットワークなどを利用した体験的な学習を通して、最適な処理及び情報と情報技術を活用して生産、加工、流通のシステム化を図ることを重点に置く。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した文献の中から本を読みレポート提出を行う予定です。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出も大歓迎です。

成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

評価は考査、課題及びレポート提出、授業態度・出席状況を組み合わせて行います。考査は1、2、3学期の中間・期末の年6回。各100点満点で実施します。配点は、考査6回の平均点の60%、課題及びレポート提出30%、授業態度・出席状況10%で行います。